

☆ 1月18日は「118番の日」

みなさんは「118番」という電話番号をご存知でしょうか？
これは平成12年に開始された海上保安庁の事件・事故の緊急通報用電話番号で、平成22年度からは1月18日を「118番の日」として啓発に努めています。

海難事故の番号と思われがちですが、密漁や密航、密輸を目撃した場合の通報先もこちらが指定されています。

しかし「110番」や「119番」の知名度は非常に高いものの「118番」は認知度が低く、平成28年に通報のあったおよそ40万件の内、98パーセントがいたずらや間違い電話だったとされています。



☆ 通報時、携帯電話のGPSはオンに！

そんな知名度がまだ浸透していない「118番」ですが、釣りやサーフィンなどのレジャーは冬の時期にも行われるためぜひ知っておきたいところ。

また、船釣りやヨットなどは沖合の目印のない中で遭難する可能性も充分考えられます。
そうした場合、通報時には携帯電話の位置情報システム(GPS)をオンしておくことで、仮に通話ができない状態であっても繋がりをさえすれば、「緊急通報位置情報通知システム」が約20mという誤差で位置を特定、現場に巡視船やヘリコプターが急行できるそうです。



事件事故について通報をするときは、

- 何が起きているか(船の遭難、火災、密漁等)
- どこで起きているか(地名、住所、付近に見えるもの等)
- 誰が通報しているか(名前、当事者か目撃者か等)

を落ち着いて正確に伝えてください。

☆ 間違い電話やいたずらは要注意

間違い電話で多いのは

- ①フリーダイヤルで「0120-118-***」の「0120」を省略してしまった。
- ②北海道札幌市の市外局番「011-8***-****」にかけようとして「0」を省略してしまった。

というのが多いそうです。またいたずら・無言電話に関しては逆探知の上、逐一通報がなされています。